

入賞

命と希望の水

菊川市立堀之内小学校

五年 ^{あらい}新井 さん

S D G s の中にはどんな項目があるか知っているだろうか。S D G s とは、より良い世界を作るための十七個の目標だが、その中に、
目標六「安全なトイレと水を世界中に」
目標十四「海の豊かさを守ろう」
という水に関する項目が二つもある。それだけ、水が私達の命や幸福に直結したものであることが示されている。

「命の水、命がけの水」

このC Mのタイトルだけを見たとき、命がけの水という意味が分からなかった。マダガスカルでは、水を手に入れるために険しい山道を歩き、それでも手に入る水は、飲めば命を落としてしまうかもしれない汚れた水。水が大切ということは理解していたが、命がけという言葉と映像にむねが苦しくなった。

私にも水が大切だと感じた経験はある。夏に水とうの中身が空っぽになってしまい、のどがかわいて死にそうと思ったり、学校で急に水道の水が出なくなってしまい、ペットボ

トルの水で手を洗った子がいたり、水は私達の生活に欠かせないものだ。しかし、目の前に飲んだら命を落とすかもしれない水しかないなんてことは考えたこともない。このCMは私とは全くちがう生活環境を送っている人達のことを考えるきっかけとなった。

世界には六億人以上も不衛生な水しかえられない人がいて、毎年二百二十万人以上の人が亡くなっている。一分に四人以上の人が亡くなっている計算になる。これは、かわいそうとすませられる他人事ではない。

水を無駄に使わないことは大切だ。歯みがき中に二分間、水を出しっ放しにすると、十リットルの水が失われる。そして、水を汚さないことも同様に大切となる。みそ汁一杯を流し捨てると、魚たちが住むことのできる水質にもどすために千五百リットルもの水が必要になる。

日本では、海水をろかして飲み水に変えたり、排水・下水を再利用するなど、すぐれ

た研究が行われている。しかし、そんな日本の技術やテクノロジーよりも世界の水不足の根本的な解決に必要なのは、私達一人ひとりが水不足の原因を正しく理解し、出来ることを行動に移すことだ。歯みがきの時に水を出しっ放しにしない、お風呂のお湯をせんとくを使うなど、使用を最低限におさえる。洗剤や油、食べ残しなど、生活排水をへらす。このように生活における水の利用方法を改めて見直し、少しずつ意識することが水不足対策につながる。日本では災害以外に水の問題を感じることは少なく、水不足は遠い国での出来事のように思えるが、資源はじゅんかんしているものであることを忘れてはいけない。

資源はじゅんかんしている。そして同じように一人ひとりの行動がじゅんかんして、どれかの命や希望を守ることとなるのだ。